

平成18年3月期 決算発表

JASDAQ
証券コード：2328

魅力ある快適空間アーバンスクエアを創る



株式会社 **アリスカ**

<http://www.arisaka.net/>

事業概要

事業展開

当社はゲームを主力に、ボウリング、カラオケ、バッティングセンター、スーパー銭湯、飲食・ビリヤード等の各種アミューズメント事業を手掛け、複合的な店舗運営を行っています。人気機種 of 早期導入や最新の設備環境、各種イベント開催等、充実したサービスを提供し、「遊びとリラクゼーション」が共存する、最高のエンターテインメント空間を創造。お客様に楽しいひとときを「体感」していただくために、各事業が様々な形でリンクした、クリエイティブでオリジナリティあふれるアミューズメント施設を、これからもみなさまにお届けしていきます。

・ゲーム事業

当社の主力事業として、ゲームセンターの運営を行っています。各メーカーと直接取引を行っているため、最新の人気機種を同業他社に先駆けいち早く導入。より多くの台数を確保し、売上・集客・固定客づくりを積極的に行っています。

・ボウリング事業

お子様からお年寄りまで、スポーツ感覚で楽しめるレジャーとして、各事業との複合化を目的に設置運営しています。各種イベント・大会の企画、近隣の会社や団体等へのアプローチ等、積極的な営業活動を行っています。

その他事業

飲食部門は、スーパー銭湯をメインに、ビリヤード・卓球部門は、アミューズメント施設に必要なに応じて設置運営しています。機器販売部門は、レンタルも含め受注に応じた営業活動を行っています。

ゲーム
事業

その他の
事業

エンターテインメント

ボウリング
事業

・カラオケ事業

施設の複合化を目的に設置運営しています。あくまで施設を利用されるカラオケを好まれるお客様へのサービスの一環として設置しております。

バッティング
事業

カラオケ
事業

スーパー銭湯
事業

・スーパー銭湯事業

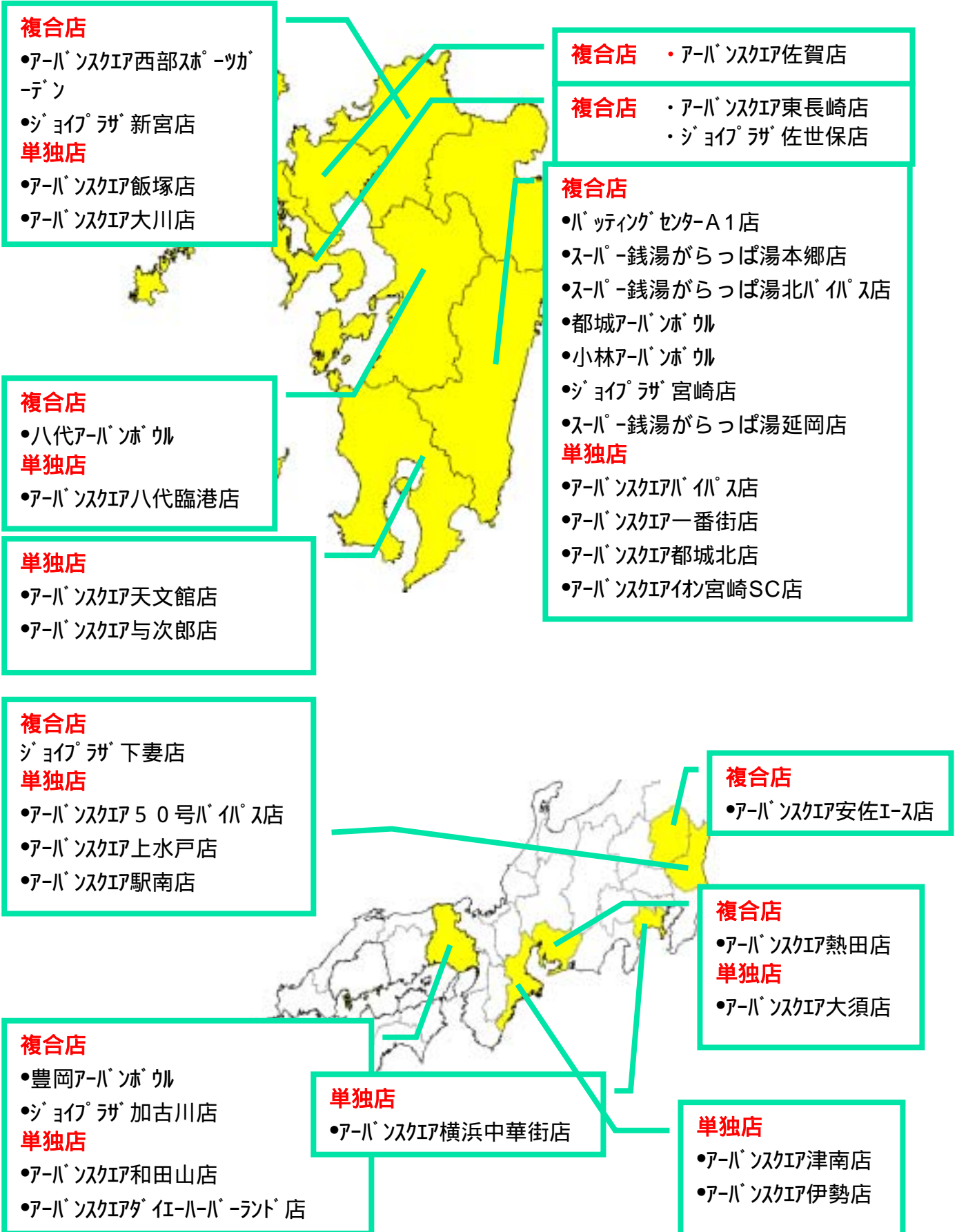
健康ランド並の浴室構成と雰囲気を持ちながら料金は銭湯並みというリーズナブルなサービスで、幅広い顧客層から手軽なレジャーとして利用されています。高い競争力を持つ事業として安定した収益をあげています。

・バッティング事業

レジャースポーツとして幅広い顧客層から根強い人気がある中、近年は女性や少年野球チームの利用も多く、メジャーな施設になってきています。施設の複合化を目的に設置運営しており、ランニングコストも少なく着実な収益を維持しています。

店舗分布図

平成 18 年 3 月 31 日現在



店舗別事業別一覧表

平成18年3月31日現在

店舗名			開設時期	ゲーム	カラオケ	ボウリング	パッティング	スーパー銭湯	飲食	スポーツ施設	ビリヤード・卓球	単独店	複合店	備考
アーバンスクエアバイパス店	宮崎県宮崎市		H2.12											
アーバンスクエア一番街店	宮崎県宮崎市		H3.2											
パッティングセンターA - 1店	宮崎県宮崎市		H4.8											
都城アーバンボウル	宮崎県都城市		H6.10											
小林アーバンボウル	宮崎県小林市		H8.12											
スーパー銭湯がらっぱ湯本郷店	宮崎県宮崎市	11	H12.4											
スーパー銭湯がらっぱ湯北バイパス店	宮崎県宮崎市		H13.2											
ジョイプラザ 宮崎店	宮崎県宮崎市		H13.12											
スーパー銭湯がらっぱ湯延岡店	宮崎県延岡市		H14.4											
アーバンスクエア都城北店	宮崎県都城市		H15.7											
アーバンスクエアイオン宮崎SC店	宮崎県宮崎市		H17.5											
アーバンスクエア天文館店	鹿児島県鹿児島市	2	H11.9											
アーバンスクエア与次郎店	鹿児島県鹿児島市		H16.6											共同店舗
八代アーバンボウル	熊本県八代市	2	H10.3											
アーバンスクエア八代臨港店	熊本県八代市		H17.10											
アーバンスクエア飯塚店	福岡県飯塚市		H3.7											
西部スポーツガーデン	福岡市西区	4	H8.4											
アーバンスクエア大川店	福岡県大川市		H14.8											
ジョイプラザ 新宮店	福岡県糟屋郡		H16.4											

店舗別事業別一覧表

平成18年3月31日現在

店舗名		開設時期	ゲーム	カラオケ	ボウリング	パッティング	スーパー銭湯	飲食	スポーツ施設	ビリヤード・卓球	単独店	複合店	備考
ジョイプラザ 佐世保店	長崎県佐世保市	H14.12											
アーバンスクエア東長崎店	長崎県長崎市	H17.12											
ジョイプラザ 佐賀店	佐賀県佐賀郡	H17.11											
アーバンスクエア横浜中華街店	神奈川県横浜市	H15.12											共同店舗
アーバンスクエア津南店	三重県津市	H16.11											共同店舗
アーバンスクエア伊勢店	三重県伊勢市	H17.12											
アーバンスクエア大須店	愛知県名古屋市	H16.2											共同店舗
ジョイプラザ熱田店	愛知県名古屋市	H17.12											
豊岡アーバンボウル	兵庫県豊岡市	H10.4											
アーバンスクエア和田山店	兵庫県朝来郡和田山町	H12.3											
ジョイプラザ 加古川店	兵庫県加古川市	H16.12											
ダイエーハーバーランド店	兵庫県神戸市中央区	H15.7											
アーバンスクエア安佐エース店	栃木県佐野市	H16.3											
アーバンスクエア50号バイパス店	茨城県水戸市	H15.3											
アーバンスクエア上水戸店	茨城県水戸市	H15.3											
ジョイプラザ 下妻店	茨城県下妻市	H16.10											
アーバンスクエアアイアイ駅南店	茨城県水戸市	H15.3											
合 計		36	35	5	11	3	4	8	1	10	20	16	4

複合施設の出店事業セグメント

老若男女の幅広い層のみならず、充分ご満足いただけるアミューズメント施設であるために、出店の際は、その地域の男女比、年齢層など詳細に渡ってリサーチを行い、その土地の地域性とユーザー・ニーズに適切なアミューズメントを組み合わせた施設づくりに取り組んでいます。このように、地域に密着したランダムな施設づくりに対応できるのは、複数のアミューズメント部門を手掛ける、当社ならではの事業形態の業あり、その結果、各店舗においてより効果的な集客力・収益率が得られ、各事業部門間での相乗効果も高まっています。



出店戦略

アミューズメント施設経営の場合、集客力を左右するものとして、出店場所の選定が大きなキーポイントとなります。そのため当社では、交通量の多いロードサイドを含め、都市中心部への店舗出店を積極的に展開しており、自社運営の大型複合施設を展開する商業施設への積極的なテナント出店や、同等、最小限の投資でよりよい立地条件のもとで効率的な出店を行い、今日まで店舗数を着実に増やし集客力を高めることに成功しています。



また、戦略的な市場開拓の一環とするのみでなく、異業他社が運営する複合商業他社のアミューズメント施設を引き継ぐ

効率化運営

今日のような淘汰の激しい業界において、当社が安定した経営を可能としている理由に、徹底した収益重視の運営施策を心掛けてきた企業姿勢が挙げられます。

集客力・収益率の低い不効率店舗全施設の運営効率化を図るための価の低減など、各施設ごとの詳細これらの施設運営におけるすべてこそ、当社が成長し続ける大きな競争力につながっています。



の早期閉鎖や、より立地条件の良い場所への出店など、スクラップ&ビルドの実施。また、仕入原価・店舗原に渡るコスト・マネージメントの実施。の効率化を、的確かつ迅速に実現するパフォーマンス

イベント・キャンペーン

各施設で定期的なイベントを積極的に行い、リピーター獲得および新規ファン層の拡大につなげています。イベントの際に提供する景品には、当社が運営サービス券なども発行し、複合施設内での来店客の図るなど、相乗効果にも功を奏しています。



する他の事業部門の割引券や無料流動と来店客の消費金額の増加を

また、複合施設のメリットを活かし、ボウリング・シーズンキャンペーンなど、幅広い客層や団体客に向けたキャンペーン企画も行い、お客様にも大変好評をいただいています。

カラオケ・飲食等のセット割引や、

社員教育

お客様に最高のサービスを提供するために、当社では、各施設の店長およびスタッフの社内研修をはじめ、現場におけるOJTによる反復実施等、「職務上の知識」「技能の向上」「管理・監督能力の向上」「職場の秩序と人の和の積極的な確立」を育成方針として独自の社員教育を行い、個々のスキルアップを図っています。



また、明るい店内、明るい接客、機器のメンから基本的な事項をスタッフに徹底して意識利用いただける、健全で明るい施設作りをモ

テナンス・故障時の迅速な対応まで、日頃かづけ、幅広い年代層のお客様に、安心してごトターに取り組んでいます。

貸借対照表

(単位：千円、%)

	前期末 H 17/3月期	当期末 H 18/3月期	増減額	前期比		前期末 H 17/3月期	当期末 H 18/3月期	増減額	前期比
資産の部					負債の部				
流動資産	1,375,239	1,973,466	598,226	143.5	流動負債	3,312,627	3,772,175	459,548	113.9
固定資産	10,532,272	12,015,625	1,483,352	114.1	固定負債	6,052,639	7,599,537	1,546,897	125.6
有形固定資産	9,369,490	10,703,007	1,333,516	114.2	負債合計	9,365,267	11,371,712	2,006,445	121.4
無形固定資産	83,581	113,416	29,834	135.7	資本の部				
投資その他の資産	1,079,200	1,199,202	120,001	111.1	資本金	922,650	922,650	0	100.0
繰延資産	11,720	3,126	-8,593	26.7	資本剰余金	920,070	920,070	0	100.0
					利益剰余金	705,899	748,615	42,715	106.1
					その他有価証券 評価差額金	14,509	41,356	26,846	285.0
					自己株式	-9,164	-12,186	-3,022	-
					資本合計	2,553,965	2,620,505	66,540	102.6
資産合計	11,919,232	13,992,218	2,072,986	117.4	負債・資本合計	11,919,232	13,992,218	2,072,986	117.4
					1株当り純資産額	600.15	616.19	16.04	102.7

現金預金の増加 275百万円 棚卸資産の増加 94百万円
売掛金の増加 103百万円 未収入金の増加 79百万円

出店及び既存店のリニューアルその他による設備
の増加 3,170百万円
減価償却費及び除売却等による減少 1,836百万円

M & Aによる営業権の増加額 57百万円
営業権の償却額 27百万円

差入保証金・敷金の新規増加 328百万円
差入保証金、敷金等の返却 202百万円

1年以内の長期借入金の増加 353百万円
短期借入金の増加 101百万円
未払費用の増加 70百万円
未払法人税等の増加 54百万円
1年以内の割賦債務の減少 150百万円
未払金の減少 64百万円

長期借入金の増加 1,912百万円
割賦債務の減少 315百万円
無担保社債の減少 60百万円

有価証券評価差額金による増加 26百万円
未処分利益剰余金の増加 42百万円

損益計算書

(単位：千円、%)

	前 期 末 H 1 7 / 3 期	当 期 末 H 1 8 / 3 期	前期比 (%)	H 1 8 / 3 期 計 画	H 1 8 / 3 期 計 画 比	H 1 9 / 3 期 予 想
売上高	6,762,171	8,548,220	126.4	8,100,000	105.3	9,350,000
売上原価	5,587,396	7,430,893	133.0	6,746,400	110.2	8,094,300
売上総利益	1,174,775	1,117,327	95.1	1,353,600	82.5	1,255,700
販売費及び 一般管理費	519,422	547,008	105.3	601,600	90.9	678,400
営業利益	655,352	570,318	87.0	752,000	75.8	577,300
営業外収益	111,256	234,394	210.7	119,700	195.8	194,000
営業外費用	345,259	380,296	110.1	390,500	97.4	336,300
経常利益	421,349	424,416	100.7	481,200	88.2	435,000
当期純利益	91,695	170,366	185.8	239,105	71.3	134,880

売上高の内訳

店舗売上高 8,163百万円(前期比24.2%増)
 機器売上高 384百万円(前期比102.2%増)

売上原価の内訳

仕入原価 421百万円
 店舗原価 6,877百万円
 機器仕入・除売却原価131百万円

販売費及び一般管理費の内訳

保険料、支払手数料の増加 8百万円
 水道光熱費、旅費交通費、報酬、租税公課、
 消耗備品費、減価償却費等の増加 28百万円
 人件費の減少 9百万円

営業外収益の内訳

雑収入の増加(営業保証金、協賛金他) 116百万円
 受取手数料の増加 19百万円
 受取地代家賃の減少 13百万円

営業外費用の内訳

支払利息の増加 26百万円
 その他営業外費用の増加 23百万円
 受取地代家賃に対応する原価の減少 12百万円

特別損失の内容

不効率店舗の閉鎖(除却損) 109百万円
 店舗閉鎖費用 9百万円

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

単位：百万	前期 H17年3月末現在	当期 H18年3月末現在	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	998	1,869	871
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,211	3,448	1,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,402	1,772	370
現金及び現金同等物の増減額	188	193	4
現金及び現金同等物の期首残高	414	602	188
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	51	51
現金及び現金同等物の期末残高	602	847	244

非
資
金
費
用

税引前純利益の増加	135百万円	売上債権の増加による減少	103百万円
減価償却費の増加	846百万円	法人税等の支払額の増加	143百万円
店舗閉鎖等による有形固定資産除却損の減少	129百万円		

新規出店・既存店舗のリニューアル・機器購入に伴う有形固定資産の取得による資金使用の増加	1,100百万円
M&Aによる支出及び敷金・差入保証金等の支出等による資金の使用の増加	288百万円
敷金・差入保証金等の回収による収入の増加	171百万円

設備資金としての長期借入金の純増減額	860百万円
短期借入金の増加	54百万円
設備等の割賦債務の支払の増加	7百万円
前期に新株発行により増加した増資額の当期収入の減少	565百万円
配当金の支払額の増加	61百万円

事業別売上高予実比較

平成18年3月期 売上高比較

(単位:百万、%)

事業別	前期実績	当期実績	実績比	計画	計画比	既存店計画	既存店実績	既存店計画比
ゲーム事業	5,633	7,165	127.2	7,023	102.0	3,455	3,827	110.8
ホウリング事業	482	617	128.0	584	105.6	293	307	104.9
スーパ-銭湯事業	250	224	89.7	233	96.4	233	224	96.4
カラオケ事業	83	66	79.4	56	117.6	49	61	125.5
ハウティング事業	32	25	79.3	37	69.6	23	25	108.1
その他の事業	278	448	160.8	164	272.1	121	420	345.3
合計	6,762	8,548	126.4	8,100	105.5	4,176	4,867	116.5

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成18年3月期 既存店月次売上高の前年比較

単位: %

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
ゲーム事業	90	90	95	101	101	113	98	109	111	90	102	113	102
ホウリング事業	101	91	87	94	96	84	87	84	82	99	100	94	95
スーパ-銭湯事業	94	93	94	92	87	92	84	84	93	86	88	90	90
カラオケ事業	82	77	75	79	79	75	78	91	88	93	96	88	86
ハウティング事業	111	92	98	111	104	87	100	99	89	93	88	92	97
その他の事業	37	37	67	90	689	4,179	509	555	42	282	69	56	178
合計	89	89	94	99	108	139	101	111	106	95	101	97	104

< メモ >



株式会社 **アリサカ**